

## 信徒講座：宣教の使命に生きる①

### 始めに

- ・ 講義の目的：宣教大命令を教会はどう果たしてきたか、又、私達はどう果たすべきかを学ぶ
- ・ 参考書：「世界宣教の歴史」中村敏、ことば社刊、「神の宣教」第1-3巻、C・ライト著
- ・ 自習課題：①主の宣教大命令をあなたはどのように実行したか？A4一枚でクラス中盤に提出、②主の大宣教命令を、あなたの教会・グループでどう進めるか？A4一枚でクラス最終週に提出

### I. 「宣教」とは何か

1. NT中の「宣教」との言葉：「宣教」との用語が20か所余り、語源は一つで、Keerusoo(宣べ伝える)という動詞からの変形
2. イエスご自身が宣教師：主はご自分を「遣わされた者」と位置付けられた(ルカ4:43-44)
3. 教会で使われている「宣教」の意味：宣教(mission)はラテン語の"missio"(遣わす)から来ている。クリス・ライトは「宣教とは、神の招きと命令を受けて、神の世界の歴史において、神の被造物の救済の為に、神ご自身の宣教に神の民として献身的に参画する事」と定義する。

### II. 主キリストの宣教大命令

1. キリストの受肉の目的は父なる神の啓示(ヨハネ1:14, 18)
2. 主の生涯と働き：その働きとメッセージは世界的(ヨハネ10:16)
3. キリストの大宣教命令
  - ・ 4福音書は主の宣教命令で締め括られている(マタイ28:19-20、マルコ16:15-16、ルカ24:46-48、ヨハネ20:21)そして使徒1:8も…
  - ・ 宣教の内容は福音を宣伝える事(マルコ16:15)、宣教の使命を継承させる事(マタイ28:20)
  - ・ 聖霊付与の約束：宣教は、人間的な力ではなく、聖霊によって進められる
  - ・ 宣教の範囲は「エルサレムから始まって地の果て迄」